

J-ARCHITECT

ジェイアーキテクト JAKUETS Architectural Design Magazine

菊本幼稚園 (愛媛県)
英明幼稚園 (神奈川県)

vol.
11



JAKUETS

路地が入り組む、美術館のような園舎

学校法人 菊本学園 菊本幼稚園

新居浜のまちと歩み、共生してゆく

愛媛県新居浜市は、北に瀬戸内海、南には赤石山系の山々が連なる風光明媚なまち。江戸期、住友が別子銅山を開坑以来、新居浜のまちは発展し、四国屈指の工業都市となりました。その新居浜の瀬戸内に面する菊本町に、この菊本幼稚園はあります。

設立は戦後間もない昭和26（1951）年、住友社員の子弟のための幼稚園としてスタートしましたが、まちの発展と共にニーズが高まり、地域の子どもたちを広く受け入れるようになりました。まさしく、まちと共に歩んできた幼稚園です。そして、創立70周年にあたる2021年に建て替えを行い、幼稚園型認定こども園となりました。

建て替えにあたっての園からの要望は、美術館のような幼稚園、子どもたちが安心して楽しめる空間、そして地域と共生できる幼稚園、というもの。音楽や体操に特化した情操教育に注力し、地域と共にあるという園の姿勢を建物にも反映したいという思いが込められています。

それを元に練られたのが、愛媛県、新居浜という地域の生い立ちと文化を取り込んだ、建物自体がアート空間という設計コンセプトです。子ども一人ひとりが個性の異なる表現者であり唯一無二のアートそのものであると捉え、その子どもたちの成長する姿が外からも感じられる“まちの美術館”ともいえる建築を計画しました。

5 園庭に面したウッドデッキの軒下空間は、別子銅山の駅舎をモチーフにした。園庭を回遊する外路地として外部と内部を繋ぎながら、子どもたちのあそびの場をつくり出す。



1 瀬戸内海、新居浜港に向かって俯瞰した菊本町一帯。手前中央の白い建物が菊本幼稚園で、周辺は低層住宅が建て込んでいる。規模の大きな幼稚園だが、園舎を分節することで全体のボリュームを抑えた。2 外壁には愛媛県特産の菊間瓦のタイルを用いて、地域の記憶と文化を表現。3 分節し、雁行に並べることで、町並に溶け込む佇まいに。4 吹抜けのランチルームはさながらまちの美術館。コロナ渦真っ直中の2021年、七夕には新居浜在住のアーティスト・石村嘉成氏の絵画を展示、地域住民の方々にも喜んでもらった。

まちと園を繋ぐ路地空間

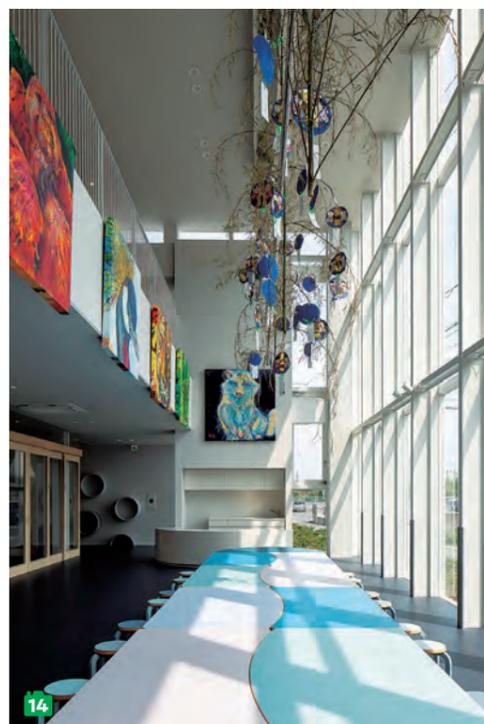
当初は工業地域だったこの一帯は準工業地域となり、現在は家々がひしめく住宅街となっています。その周辺環境を読み取った園舎は、モダンなミュージアムという形容がふさわしい一際目を惹くシャープな表情を持った大きな建物でありながら、分節によって回りに威圧感を与えない、町並に溶け込んだものとなっています。愛媛県産の菊間瓦のタイルとガラスを多用した開放的な外観からは、子どもたちの生き生きとした姿がまちにあふれ出てくるようです。

平面プランの大きな特徴は、新居浜というまちから導き出した路地のような空間を取り入れたところにあります。保育室を一列に並べずに出っ張らせたり引っ込めたりして、それらを繋ぐ廊下などの動線をまちの路地に置き替えることで、遊んだりおしゃべりしたり自主性にまかせて自由に過ごせる豊かな空間を生み出しました。そこは異年齢児間の大切なコミュニケーションの場ともなり、まち（園外）との接点ともなります。園庭側にはウッドデッキを設け、上下階の路地空間とも繋がる軒下のような空間をつくりました。

入り組んだプランは、死角を生むなどの心配も生じるところですが、ハード面では保育室の路地側の角をガラスにして見通しを良くしたり、ソフト面では教育の一つのチャンスとして子どもたちに注意を促すことで解決しています。



6 4歳児の保育室。2クラスを合わせた中央の壁は黒板クロスで、ピアノを設置し、手洗い場や収納を設けている。ハイサイドライトで室内はとても明るい。7 保育室の路地側はガラス引き戸にして、視線が通るようにした。この引き戸内が保育室だが、路地と同色の黒い床のスペースは土間的な空間で、引き戸を開放すれば路地と繋がる。8 路地に設けられた図書スペース。キューブの中に籠もって本を読んだり、思い思いに過ごせる。9 2階の吹抜けから1階ウッドデッキを見下ろす。路地空間は上下階をも繋ぐ。



10 エントランスホールは有機的な形状の靴箱に、石ころ型のベンチを配置。ホールを通り抜けて、園庭へそのまま出られる動線になっている。11 3歳児の保育室は、中央の壁内にはトイレを設置。両側から使える。12 0～2歳児の保育室は、やわらかな配色に。13 路地空間に設けたアートのような仕掛け。筒が飛び出た壁面、本が読めるキューブなど、出っ張りに座ったり、籠もったりと、子どもたちが直感的に身体を使って遊べるものになっています。

想像力を掻き立てるインテリア

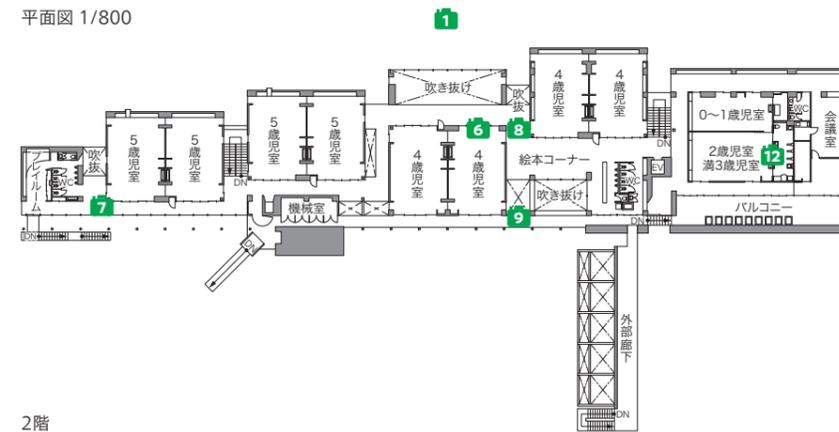
インテリアにおいても美術館というキーワードを核に、オリジナルのデザインを展開しました。

保育室は、同年齢ごとに2クラスを1セットとし、中央には収納やトイレ（低年齢児の場合）を挟むつくりです。音楽教育に力を入れている同園は、各保育室にアップライトピアノが用意されており、ピアノを置く壁はピアノの色に合わせて黒板クロスとしました。どうしても際立ってしまうピアノの存在感をうまく空間に溶け込ませるといった意図から、黒という色は外観に使用している菊間瓦にも通じるものです。色彩計画は、内外ともにその黒と白を基調に、場所に応じて洗練されたパステルカラーを配しています。

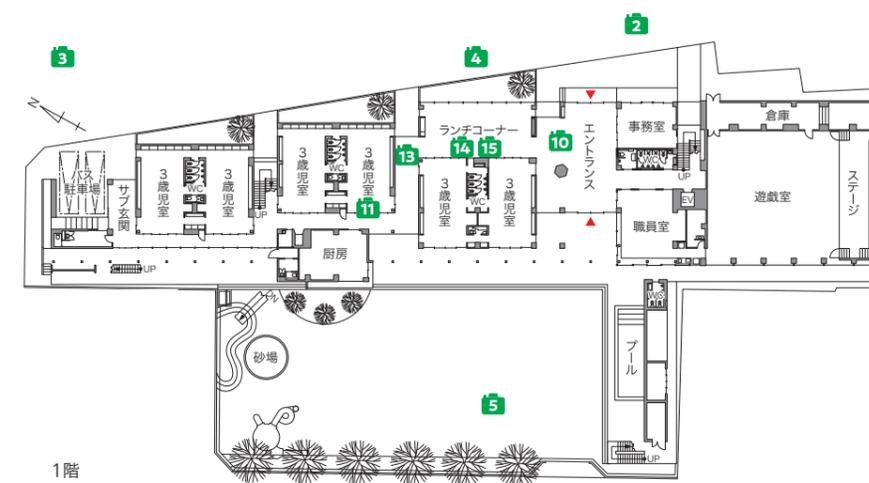
そして、黒板クロスの壁には、何歳児の保育室か子どもにも一目でわかるよう、収納やトイレの枠をアーチ、四角形、五角形といった形にデザインしました。

路地空間には、子どもたちのコミュニケーションのきっかけとなる仕掛けや想像力を掻き立てるもの、自ら考えて遊ぶ遊具のようなものなどを考えました。筒が飛び出た壁面、本が読めるキューブなど、出っ張りに座ったり、籠もったりと、子どもたちが直感的に身体を使って遊べるものになっています。

平面図 1/800



2階



1階



DATA

学校法人 菊本学園「菊本幼稚園」

所在地 愛媛県新居浜市菊本町

主要用途 幼稚園型認定こども園

定員 300名

竣工 2021年3月

.....

構造 鉄骨造2階建

敷地面積 3,300.89㎡

建築面積 1,691.88㎡

延床面積 2,691.65㎡

.....

設計 ジャクエツ+
アトリエ9 建築研究所
インテリアデザイン イガラシデザインスタジオ

IMPRESSION — 建設を終えて

信頼関係があつてこそ。

高いクオリティをタイトなスケジュールで実現してくれました

当園は2021年に70周年を迎えるにあたって、園舎の建て替えと幼稚園型認定こども園への切り替えを決断し、30年以上おつきあいのあるジャクエツさんに依頼しました。信頼関係があつたからですね。クオリティの高いものをつくってくれるという信用がありました。

新園舎については、「美術館のような幼稚園」という明確なイメージがありました。また、設立以来、新居浜というまちと歩んできたので、まちと共生する幼稚園であることも表現したいと思いました。そういった要望を、ジャクエツさんとアトリエ9さんは想像以上に実現してくれました。インテリアにイガラシデザインスタジオさんに入ってもらったのもよかったです。色使いがきれいでやわらか、各室で景色が違うのも気に入っています。

とても満足しています。愛媛県は補助金を受けるには単年度でやらなければならないのですが、タイトなスケジュールも無事、間に合わせていただいて感謝しています。これだけの大きな仕事を単年度でやってくれるところはジャクエツさん以外なかったと思います。



学校法人 菊本学園
理事長
神野年夫氏



あそびを増幅するキューブのある園舎

学校法人 宝田学園 英明幼稚園



1 シンプルな建物に、3つのキューブが躍動感と色彩を添える。2階の小部屋はガラス張りで、あそぶ子どもの姿が庭庭からも見える。2 安全にのびのびとあそべる、畳敷きの遊戯室。ランチルームとしても想定してお膳をオリジナルで製作、正面の床の間を兼ねた棚に収納できる。3 遊戯室は、茶道など和の作法を学ぶ場や親子相談室としても大いに活用されている。額装の書は書道家・金澤翔子氏によるもの。「あそびが人をつくる。」という文は先生と一緒に考えた。4 2階のブルーの小部屋には丸くくり抜いた間仕切りと段差を設けた。5 ピロティにはログ材を再利用したブランコやベンチを製作。奥のネット遊具は2階へと伸び、自由に行き来できる。

平面図 1/400



6,7 旧園舎も手を加えており、エントランスとトイレを改修。新園舎と同様、イガラシデザインスタジオによるデザイン。

英明幼稚園の3棟あった園舎のうち、老朽化した木造(ログハウス)園舎の建て替えを行い、満3歳児と5歳児の保育室、調理室と遊戯室を計画しました。

同園の保育方針は、あそびを媒介にして心、体、頭を育て、豊かな人間関係を体験させ、やってみようという意欲を育てること。そこで、子どもたちのあそびをつなげていく園舎をコンセプトに、外廊下をぐるりと一周つなげて途切れない動線をつくり、その間に3つのキューブ状の小部屋を配置しました。階段とネット遊具で上下階を自由に行き来でき、用途を決めていないキューブは子どもが発想豊かにあそべる場所となっています。

DATA

学校法人 宝田学園「英明幼稚園」

所在地	神奈川県横浜市	建築面積	331.55㎡ (増築部分)
主要用途	幼稚園	延床面積	454.48㎡ (増築部分)
定員	235名
竣工	2021年3月	設計	ジャクエツ
.....	インテリアデザイン	イガラシデザイン
.....	スタジオ	スタジオ
構造	鉄骨造2階建		
敷地面積	2,285.46㎡		

IMPRESSION — 建設を終えて

設計士、デザイナーさんのアイデアに乗ることで
オリジナリティある園舎ができました

これまで園舎を数棟建ててきたのですが、この新園舎ではさらに新しい、オリジナリティのあるものにしたいとジャクエツさんをお願いしました。保護者も新しいものを求めているので、モダンな雰囲気を要望しました。また、園舎づくりの経験を積んでいても、自分ひとりの考えには限界があると感じていたため、インテリアデザインに特化したデザイナーさんにも関わってもらったことは、とてもよかったですね。そのアイデアに乗ることで、従来の在り方を思い切って飛び越えることができました。たとえば、遊戯室は畳にしたいと言ったら、お膳で給食をとることを提案してくれました。キューブの小部屋も当初、おまごや読書の部屋として考えていたのですが、用途を決めない空間を提案されました。いずれも思いがけないアイデアでしたが、そのほうが良いと思って方向転換して正解でしたね。子どもたちの自由な発想を刺激する園舎にすることができました。



学校法人 宝田学園
理事長
宝田 浩氏

JAKUETS

ディレクター

松山店 店長

碓 晃

園さん、協働設計士、インテリアデザイナー、施工者、社内専門部署の間に立ち、円滑な調整と橋渡しに努めました。菊本幼稚園では、オリジナルデザインにこだわり、施工の手間がかかる上に単年度というスケジュールでたいへんでしたが、みなさんのおかげで園さんに喜んでいただけたと思います。また、様々な専門家を「まとめる力」がジャクエツの強みであることを再認識できました。



ディレクター

横浜店 店長

山本仁志

新築・改築を何度もご経験のお客様で、モダンでオリジナリティのある建物をご要望の中、イガラシデザインスタジオとジャクエツのコラボレーションによる多様なデザインや思いがけないアイデアなどたいへん喜んでいただきました。解体したログ材を利用した遊具やベンチは幼稚園の歴史を繋ぐバトンにもなったと思います。



設計士

建築設計課 課長代理

内田 玄

保育方針に沿うよう、子どもたちのあそびを邪魔せず内と外を繋げていく園舎を考えました。外廊下を繋げて途切れない動線に途中で出たり入ったりできるキューブをつくることで、あそびが広がっていく計画としています。より柔軟な発想や提案力を高めたいと思い、イガラシデザインスタジオに参加いただきました。案を出し合ったことで、切れ目のないあそび空間を実現できたと思います。



設計士

建築設計課

玉川遥香

既存園舎と向かい合うように配置し、園舎を巡りながらテラスや園庭、既存園舎へと視線が誘導されるように計画しました。実際に様々な場所で子どもたちのあそんでいる様子が見え隠れし、新しいコミュニケーションが生まれていることを実感しています。



菊本幼稚園



設計士

アトリエ9建築研究所

代表 呉屋彦四郎氏(左)

副代表 井村武蔵氏(右)

菊本幼稚園では、美術館のような幼稚園とはどういうものか考えるところからスタートしました。インテリアではやわらかさが欲しかったので、イガラシデザインスタジオに参加してもらいました。様々な人がいて形成される「まち」が大切な要素だったので、3者のコラボレーションによって、まちらしさが表現できたと思います。



英明幼稚園

インテリアデザイナー

イガラシデザインスタジオ

五十嵐 久枝氏

インテリア担当ですが、設計の打合せにも同席してコンセプトをしっかりと共有するように心掛けています。設計テーマと園さんの要望を汲み取った上で、どれだけ発想を膨らませるかが私たちの仕事です。菊本幼稚園、英明幼稚園いずれも、いわゆる遊具ではなく、抽象的な遊び方から考えるようなものをデザインしました。



株式会社ジャクエツ 一級建築士事務所

- ・福井本社 〒914-0125 福井県敦賀市若葉町2-1770
TEL. 0770-21-0111
- ・東京設計事務所 〒108-0074 東京都港区高輪4-22-4
TEL. 03-5789-1100
- ・横浜設計事務所 〒221-0865 神奈川県横浜市神奈川区片倉2-22-1
TEL. 045-488-6253
- ・宇都宮設計事務所 〒320-0847 栃木県宇都宮市滝谷町20-17
TEL. 028-614-5070

- ・名古屋設計事務所 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-11-32
TEL. 052-265-2730
- ・大阪設計事務所 〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-11-3
TEL. 06-6471-3939
- ・広島設計事務所 〒730-0843 広島県広島市中区舟入本町6-21
TEL. 082-531-0770
- ・福岡設計事務所 〒812-0896 福岡県福岡市博多区東光寺町2-8-31
TEL. 092-451-0117